

R3 ミニバザーだより

R3.11.3 開催

発行：
自然幼稚園

ち	び	っ	こ
2021	た	ん	てい



地域みんなが毎年楽しみにしているバザー！ 自然幼稚園といえば保護者会主催、幼稚園共催で毎年11月3日に開催する地域開放型のバザーが有名ですが、コロナ感染予防のため、昨年に続き在園児と小学1年生の卒園児限定のイベントが開催されました。テーマは『ちびっこたんてい 2021』♪。【怪盗さ】が盗んだお宝を探して探偵帽子と探偵めがねを持って捜査開始！最後まで頭を使い、とてもワクワクしましたね！更に今年は手作り品の販売&ゲームコーナーもご準備いただきました。多くの方はお招きできないけれど、今できる最高で唯一の形が『ミニバザー』だったのでね。幹事様はじめご準備にご協力いただいた保護者の皆様ありがとうございました。在園児の親子みんなが笑顔になれたミニバザー楽しかったですね。このミニバザーではどんな苦労や工夫があったのでしょうか？ご担当いただいた方々にお伺いしました。

ミニバザーブースコメント



① つぼみ組【あしをおえ！】

最初のブースなので、探偵という世界観を足跡を追うことで表現。この先に何があるのかワクワク期待感を持って進んでもらえる工夫をしました。注目ポイントは、こだわりのクジャクと、園長先生が勢至丸様の前で一礼しているところです。

② ひよこ組【きもちをひとつに！】

例年バザーで人気のルーレットをリニューアル！！親子で楽しめる色合わせ&間違い探しを組み合わせました。みんながゲットした虫メガネが答えになっていたことに気がついたかな？



③ ことり組【このおとなのおと？】

夜の街を彷徨う探偵…をテーマに、段ボールなどを使い子供たちが楽しめるゲームを考えました。ちなみに、イラストのほとんどは“手書き”です！！たくさんの笑顔がありました。



④ ふじ組【あいてむをげっとせよ！】

野外で絵の具を塗り、沢山の岩を作った事が大変でしたが楽しかったです。柵・湖・木箱なども作り、リアルなブースが完成しました。子供たちが楽しそうに釣っている姿を見ることが出来てとても嬉しかったです。

⑤ さくら組【なにがみえる？】

赤ゼロファンで何色が消えて何色が浮かび上がるのかを検証しながら制作しました。自分の力でゲットした虫メガネで、一生懸命に街並みの小窓から覗いて文字や形を探す姿はとてがかっこよくて嬉しかったです。お部屋の窓に飾られたスタンドグラスは見てくれましたか？今も幼稚園のどこかにあるかも…？



⑥ きく組【ほうせきをさがせ】

宝石を見つけた時のワクワク感を感じられるように、学年ごとに難易度を変える工夫をしました。自販機は、強度やデザインにこだわって作りました。探偵ハットbossにみなさん気づきましたか？



⑦ テラス【せんせいといっしょにからだをうごかさう】

米田先生のこだわりポイントはなんといっても「みんな楽しく」です。いつも幼稚園で遊んでいる遊具は説明がなくてもうまく使いこなします。初めてのコースでも思わずやってみたくなるサーキットには体幹、とっさの場面での身のこなしなど、日ごろの遊びで体得した運動能力を発揮する要素が沢山ありました。子どもの「みてみて」は「もっとやりたい」の素。子ども達の生き生きした笑顔がみられましたか？



⑧ ホール/シルエット【このかげなんのかげ？】

毎日園で目にするものだけど、すぐには分からない形や角度にこだわりました。街並みの至る所に忍ばせた数々の“変装ハット”。みなさんいくつ見つけられましたか？



⑨ ホール/パズル【えをかんせいさせよ！】

パズルの難易度を3つに分けて設定し、自分で選べるようにしました。オモて面だけではなくウラ面にも絵を貼り、悩みながら完成させられるように工夫しました。

⑩ ホール/キャラシュート【なんこはいるかな？】

例年バザーで人気のキャラシュートを探偵のテーマに合わせて“おしり探偵”のボードに大変身。画用紙でできる限り大きくキャラクターを作り並べました。小さなマルチズ署長がいたのにも気づきましたか？



⑪ 舞台/最終ステージ

“怪盗さ”に続く大事な場所なので、上野さんのお力もお借りして、扉の重量感・安全性・リアルさをとことん追求し、ワクワクドキドキする仕掛け作りを心がけ、開ける時の「ぎっつ」の音にもこだわったのです。その奥に控える“怪盗さ”の使命は、出会った皆さんの心を奪うこと。扉をあけるまで中の様子が分からないよう扉の前の対応は慎重に。奥からふわりと現れた怪盗が集めたお宝を束ねたキャンディレイをそっと子ども達に渡し喜びを分かち合う。一人ひとりの心を奪う工夫は“怪盗さ”のみの心の中に。





⑫みのりハンドメイドマルシェ

手作りブースは、保護者の方にご協力頂いた沢山の松ぼっくりツリーのお陰で、とても華やかな空間になりました！また、お菓子ポーチ、紙粘土を使ったヘアゴムなどの新商品も沢山の方に喜んで頂けたと思います。ありがとうございました。

⑬手作りおもちゃみのり工房

今年はいじめての試みのブースです。子供たちにもお買い物を楽しんでもらいたい、たくさん遊んでほしい、こんなあったらおもしろいかもと、アイデアを出し合い制作しました。

ぜひ、お家でも一緒に工作を楽しんでもらえたら嬉しいです。



【会長挨拶】

ミニバザー当日は秋晴れの中、沢山の皆さまにご参加いただきありがとうございました。コロナ感染者数が落ちている状況で開催できたこと、限られた時間の中でもたくさんの子供たちや保護者のみなさまの笑顔を見る事ができたことを、幹事一同大変嬉しく思っています。今年だけのスタイルのミニバザー『ちびっこ探偵 2021』が、園生活の楽しい思い出の一つになれば…と願っています。

最後になりましたが、ミニバザー準備への沢山のご協力本当にありがとうございました。

高橋恵理

編集後記:

自然幼稚園卒の子ども達は優しく、しっかりした子が多いねと小学校入学後に他園卒の保護者から声を掛けられることがあるようです。“しっかりした”の背景を詳しく尋ねると“自分の考えを持ち、やりたいことを友達と相談しながらなんとかやり遂げようとする姿勢を指すらしいのです。喜ばしい定評で安心しました。なぜならばこの言葉の指すことを分析してみると【自己肯定感・社会情動性】が育っているからと理解できるからです。

折に触れ感じる事なのですが、これらの力は幼稚園の生活だけで育つものではなく、子どもに合わせた家庭生活が基本となって保護者と共に創り出す自然幼稚園の保育文化の中で育っていることは間違いありません。バザーは毎年保護者会の三役さんを中心に多くの幹事さんが協議・立案・実行・伝承されています。通常のバザーは11月3日に保護者全員が協力して実行されるのですが、去年・今年のようにコロナ禍で入場制限をせざるを得ない場合でも、子ども達、園、そして自分達の為にできるイベントをやりたい、との熱い思いを受け、園と協議後に今年も形を変えて幹事さん中心で実行されています。子育て・仕事・家事・町内会の役など一日24時間では足りないくらい多忙な皆様が、こんなにすごいイベントを成功させた後の感想は「楽しかった！」と「仲間に感謝！」でした。思わず頭が下がりました。自然幼稚園に保護者会組織があったから、バザー活動の歴史が続いたから、このような人との繋がりや共に頑張ったと心から思える幸福感を味わえたのだろうと考えます。

先日のちびっこバザーでは、子ども達発信でやりたいこと、楽しいことを自ら生み出し私たち大人を楽しませてくれました。これも、保護者の皆様が日々の生活の中で醸し出される“子育てしながらみんなの為に動くことの幸福感”が土台にあってこそ、子ども達が大人を楽しませることができたのだろうと推察しています。自然幼稚園の保育文化は先生だけが作るものではなく、子どもも保護者もみんなで作るものだ実感しています。子ども達は我々大人の鏡です。これからも、お互い心豊かに育ちあえる日常を大切にして自然の保育文化を継承しようと思います。

副園長 北村佐智子

ち	び	っ	こ
2021	た	ん	てい

